

新発田市立歴史図書館 資料のご案内

古文書などの歴史資料

主に【新発田市立図書館 郷土資料 蔵書目録】に掲載されている資料です。

- ・蔵書目録は、サービスカウンターにて閲覧いただけます。
- ・当館ホームページの「デジタルアーカイブ」バナーからも検索できます。
- ・湿度、温度一定管理の3階特別収蔵庫(一般利用者立入禁止)にて保管しています。
- ・資料の閲覧を希望の場合は、カウンターにお申込みください。
- ・閲覧できない資料もあります。

●目録 第1集 昭和34年(1959)発行

郷土資料 1592部について掲載。その大半は、旧新発田藩に関する記録であり、その他には絵図・地図・写真・書画・拓本・書籍など。

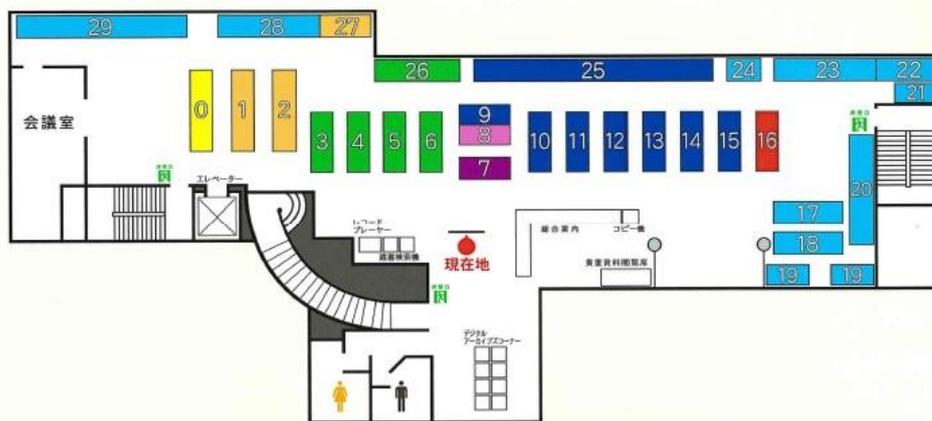
●目録 第2集 昭和49年(1974)発行

新発田藩溝口氏の近世資料(文書・絵図等)を収録。

図書資料およびAV資料

歴史図書館の図書資料・AV資料は、2階開架、3階閉架(一般利用者立入禁止)に配架しています。3階閉架の資料は、職員が出納します。

2階 配架配置図



0	レコード	3	関文庫 新潟県外発掘調査報告書	9	文学以外の個人全集	16	調べ物コーナー
7	新しく買った本・話題の本	4	自治体史	10	叢書	19	堀部安兵衛文庫
8	雑誌	5・6	考古学	11	哲学・宗教・自治体史・郷土史	21	小柳牧衛文庫
10・20・27	三扶文庫	26	新潟県内発掘調査報告書	12	自治体史・郷土史	17・18	歴史・郷土資料
				13	日本史	20	
				14	社会科学・芸術・言語	22・24	
				15	事典・辞典	28・29	
				25	文学		

各資料・文庫の説明は次ページから記載→

新発田町立図書館

貴重資料のため
館内閲覧となります。

書架番号〔29〕 保管場所〔町立〕

昭和4年(1929)4月14日、坪川洵平氏の篤志により新発田町立図書館が開館しました。これを機として「新発田町教育会経営新発田図書館」、「渡邊文庫」、「義士文庫(現在は堀部安兵衛文庫の一部)」、「丹羽文庫」、町小学校同窓会の蔵書、旧藩家老溝口伊織の藩政資料などの寄贈がありました。

昭和22年(1947)、蔵書はすべて市立図書館に引き継がれました。

新発田町教育会経営新発田図書館

貴重資料のため
館内閲覧となります。

書架番号〔28〕 保管場所〔町立〕

大正11年(1922)、新発田町教育会は、新発田図書館を開館しました。

昭和3年(1928)、新発田町教育会は、すべての蔵書を開館を控えた町立図書館に寄贈しました。

こうよ 公餘文庫

貴重資料のため
館内閲覧となります。

書架番号〔28〕 保管場所〔町立〕

明治42、3年(1909～1910)頃、北蒲原郡役所の所員が、公務の餘(余)暇(「公餘」)に修養にはげようと文庫を設立しました。

大正15年(1926)の郡役所の廃止にともない、新発田町教育会経営新発田図書館に寄贈された資料です。

ほへい だいじゅうろく れんたい 歩兵第十六聯隊文庫

貴重資料のため
館内閲覧となります。

書架番号〔28〕 保管場所〔町立〕

歩兵第十六聯隊は明治17年(1884)から昭和20年(1945)まで旧新発田城内に存続した聯隊です。その聯隊が所蔵していた資料で、敗戦後に廃棄された本をもらい受けて、町立図書館の蔵書としました。

歴史図書館資料

書架番号〔23. 24〕 保管場所〔歴史図書館〕

昭和22年(1947)1月、市制施行に伴い、「新発田市立図書館」となって以降の所蔵資料です。平成28年(2016)7月に市立図書館が新発田駅前複合施設〔イクネスしばた〕内に「新発田市立中央図書館」として移転開館したことに伴い、それまでの新発田市立図書館所蔵資料を、「中央図書館」と、歴史や人物に関連した資料(※)を中心とした「歴史図書館」に分けたものです。

(※参考)『歴史とは何か』 --- 「歴史とは現在と過去との絶え間ない対話である」
E・H・カー [(1892-1982) イギリスの歴史家、政治学者、外交官]の言葉。

新潟県の郷土資料

書架番号〔20〕 保管場所〔歴史図書館〕 別置記号〔K〕〔KK〕

新発田市を除く、新潟県に関連した郷土関連の資料を集めています。

新発田に関連した郷土資料

書架番号〔17〕 保管場所〔歴史図書館〕 別置記号〔KS〕〔KG〕

現在の新発田市及び江戸時代の新発田藩に関連した資料を集めています。

堀部安兵衛文庫

貴重資料のため
館内閲覧となります。

※一部鍵付書架にありますので、閲覧希望の際はカウンターへお申し出ください。

書架番号〔18. 19〕 保管場所〔安兵衛文庫〕 別置記号〔H〕

この文庫は、新発田市内の建設会社社長である**小林政爾氏**が、昭和 62 年(1987)以来、毎年 100 万円ずつ、10 年間にわたって計 1,000 万円を寄付して下さった資金をもとに調えたものです。このコレクションは、赤穂義士討ち入り事件全体を包括しており、「義士文庫」の体をなしていますが、郷土の義士安兵衛を顕彰することから、平成 9 年(1997)から「堀部安兵衛文庫」として公開しています。この寄付金による収集品を核として、その後発行された図書・雑誌・CD・古書籍など、図書館での購入や寄贈を受けたものも含めて、年々増加しています。

こやなぎ まきえ 小柳牧衛文庫

貴重資料のため
館内閲覧となります。

※鍵付書架にありますので、閲覧希望の際はカウンターへお申し出ください。

書架番号〔21〕 保管場所〔小柳牧衛文庫〕

この文庫は、昭和 60 年(1985)に寄贈された小柳牧衛氏の旧蔵書です。戦前戦後の長きに渡り、政界で活躍された小柳氏の蔵書は、貴重な資料群を形成しています。

■小柳牧衛【明治 19 年(1884)-昭和 56 年(1981)】

川東生まれ。旧制の新発田中学校・第一高等学校・東京帝国大学法科を卒業した後、内務省(当時)に入省しました。青森・福島・長崎・兵庫の県知事を歴任し、新潟市長にも就任しました。戦前に衆議院議員を三期、戦後に参議院議員を三期勤め、通算すると国会議員生活は 23 年にも及んでいます。

レファレンス (調べもの)資料

書架番号〔16〕 保管場所〔歴史参考〕 別置記号〔R〕

歴史に関する調べ物などの際の、参考資料です。館内でご利用ください。



みぶ 三扶文庫

書架番号〔1. 2. 27〕 保管場所〔三扶文庫〕 別置記号〔Zハ〕

三扶哲夫氏は、曾祖父の創業した出雲屋印刷所(のち三扶印刷所)を継承しました。

祖父の誠五郎氏は、戦前、新発田郷土研究社を設立し、特に新発田藩政史の研究に没頭され、数々の著作物・藩政文書の復刻や翻刻をされました。

哲夫氏は、稀少価値を持った誠五郎氏の著作を復刻し、多くの市民に新発田の歴史を学ぶことのできる資料を提供しました。哲夫氏の寄贈書籍は、芸術と芸能関係が多く、写楽の研究を志したことから浮世絵関係の書籍が特色となっており、多くのひとびとから役立ててもらいたいとして寄贈されたものです。

関文庫

書架番号〔3～6. 26〕 保管場所〔関文庫〕 ※寄贈者の意向により、独自の連番(6桁)順に配架しています。

関雅之氏は、新発田高校などで教壇に立つとともに、新潟県教育庁で文化行政に携わり、多くの後進を育成しました。新潟県史や自治体史の編纂・執筆を行い、専門誌に多くの論文を執筆するなど、考古学の研究を推進しました。

新潟県内発掘調査報告書は、当初のころのものから揃っており、関氏が主として研究した弥生時代の研究史に残る貴重な報告書や著作物もこの文庫に含まれています。関氏の書籍は考古学を中心としますが、歴史学、民俗学、文学にも視野が広がっており、若いひとたちからも役立てていただきたいとして寄贈されたものです。

帆刈文庫

書架番号〔9～15. 25〕 保管場所〔帆刈文庫〕 別置記号〔Zイ〕

帆刈喜久男氏は、幼少のころから自家の土蔵の中にあつた古書を読んでいたといひます。新発田高校などで教壇に立つとともに、新潟県史や自治体史に携わり、近世文芸史を中心として編纂・執筆を行いました。

研究分野は、国書・漢学・歴史・芸術にわたり、それを支えたのがこの蔵書です。このほか俳書と文芸史料の複写等があります。

自分の研究の出発点が新発田藩学資料であつたことから、この蔵書を使って調べてもらいたいとして寄贈されたものです。

レコード

書架番号〔0〕 保管場所〔歴史開架 AV〕 別置記号〔R〕

主に、1960年代から1970年代のレコード全盛期の頃の資料です。クラシック・ジャズ・ポップスと、幅広いジャンルが揃っています。貸出し可能です。館内でヘッドホンによる試聴もできます。